



..... No25-2023.12.20

自由律俳句協会ニュースレター

.....

発行：自由律俳句協会

(このニュースレターでは自由律俳句協会の最新の活動状況をお伝えしていきます)

2023 年度自由律俳句協会総会のご報告

2023 年 11 月 26 日(日)、東京都渋谷区の千駄ヶ谷社会教育館にて、自由律俳句協会総会が開催されました。総会時点での協会のうち、当日の参加者とハガキで賛否・委任を寄せた会員を合わせると、個人会員が 46/62 名、団体会員が 7/7 団体で、会員の過半数に達したため、総会は成立しました。当日は、参加者 18 名（うち 3 名はオンライン参加）で議事が進められました。

初めに佐瀬会長より開会のご挨拶があり、司会・野谷真治氏、議長・平林吉明氏のもと、議案にそって各担当者よりの報告・説明があり、2022 年度事業報告、2023 年度事業計画、会計報告予算案、規約改正や役員体制等が承認されました。

次いで、第 5 回自由律俳句協会奨励賞の贈賞式、第 3 回自由律の泉賞の発表・表彰式が行われました。今後の活動について、協会の立ち位置として、佐瀬会長から、結社や句会、個人をつなぐハブとしての役割を目指すことが改めて語られました。

白松いちろう氏より閉会のご挨拶があり、記念撮影の後、近所の居酒屋で 4 年ぶりの懇親会が催され、大いに話し、楽しい時間を過ごすことができました。



【第 1 号議案】2022 年度事業報告

主な活動としては、総会の開催、機関誌「自由律の風」第 5 号発行、ニュースレターの発行 (No. 20 ~24 発行+メール号外送信など)、投句欄「自由律の泉」⑩~⑬の発行、「第 5 回自由律俳句協会奨励賞」、オンデマンド冊子「第 2 回自由律の泉賞 ~テーマ：愛 句と鑑賞~」の刊行、「文学フリマ東京 36」への出店 (5 月)、オンラインイベント「第 3 回きょうかいの句会 in Zoom」の開催、通信句会「第 3 回自由律の泉賞」開催、ホームページや X (旧ツイッター) での情報発信などを行い、「第 1 回 自由律俳句大賞」実施へ向け、実行委員会での準備を進めてきました。

【第 2 号議案】2023 年度事業計画

今年度は、例年の活動に加え、新たに「第 1 回 自由律俳句大賞」という大プロジェクトに取り組みます。総会当日、投句募集のチラシを配布し、これより本格的な広報活動を開始します(3 ページ参照)。協会ホームページや公式 X でも発信していき、5 月の「文学フリマ東京 38」への出店も広報活動に活用します。今年は協会主催のイベントも、対面・オンライン開催をあわせて企画中です。

また、機関誌「自由律の風」は、編集体制を変更し、内容を一新して、年 1 回発行します。大川崇譜編集長のもと、第 6 号発行へ向けて進行中です (4 ページ参照)。ぜひ積極的にご参加ください。

【第3号議案】 規約改正

規約文中に会の設立年月日や総会開催について具体的な記載がないことで、郵便局などでの手続きに不都合があることが判明したため、追記しました。そのほか、「会費免除の名誉会員を設けることができる」「ハラスメント条項を設ける」などの追記が提案されました。

【第4号議案】 役員体制

会長：佐瀬風井梧 副会長：平林吉明

事務局：さいとうこう（新任）、佐川智英実、白松いちろう 会計：篠原紀子、平岡久美子

企画・広報：寺田和可、野谷真治、吉本知裕、さいとうこう（兼任）、平林吉明（兼任）

地域連携：富永順子 会計監査：黒瀬文子

※ほかに、機関誌編集長：大川崇譜（新任）

◆「第5回自由律俳句協会奨励賞」の発表・贈賞式

今回の奨励賞は「自由律俳句きやらぼくの会」に贈呈いたしました。西日本を代表する伝統のある自由律俳句会です。俳句表現で大切なのは句に詩があるかどうかですが、「きやらぼくの会」は長年にわたってこの問題の追求を作品の上で、また俳論の上で行われてきました。その功績は多大了。きやらぼくの会におかれましては、今後とも、句作品と俳論の両輪で俳句の表現の可能性を追求して下さるよう期待を込めお願いいたします。（佐瀬風井梧）

◆「第3回自由律の泉賞」の互選結果発表・表彰式

今回は、36名72句の参加を得て、投句者による互選方式で、各自5句、うち1句を特選句として選び、その得点の集計により、次のような上位句の作者に賞が贈られました。

〈第1位〉 送り火の揺らぎを猫と見ている	渡辺 旅人
〈第2位〉 本の付箋の羽化がはじまる	篠原 紀子
〈第3位〉 次のページを塗っている君のクレヨン	さいとう こう
〈深田紫洋賞〉 青春の店はまどぎわに座り	湯原 柳泉洞
〈入賞〉 古いアルバムめくればみんな死んでいる	青井 こおり
まっすぐな瞳が言った戦争がない国に行きたい	金澤 ひろあき
帰ってこいと巨木すくっと立つ	原 さつき
へたでもなきつづけるしかないうぐいす	松尾 貴
老人は秘密を誰かに話したくなる	三谷 宜郷

会場では、平岡久美子氏より結果発表・受賞作の紹介があり、篠原紀子氏、さいとうこう氏、青井こおり氏が表彰式に臨みました。欠席の方には後日、冊子と賞品を郵送させていただきました。

★応募作品と鑑賞をまとめた冊子のPDF版は協会ホームページの電子書棚でもご覧になれます。

◆2023年度自由律俳句協会総会に参加して

コロナ禍を乗り越え、久々に顔合わせの会場で参加した総会は、実に斬新な空気に包まれていました。役員体制、機関誌編集体制が刷新され、これからの協会の将来へ向けて大いなる発展が期待されます。その第一歩は「自由律俳句大賞」の発足です。今年度の目玉企画であり、これからの協会の大黒柱となる活動として、その成功を期待しています。（白松いちろう）

「第1回 自由律俳句大賞」投句募集が始まります

自由律俳句協会今年度の主要な行事は「自由律俳句大賞」です。総会では、その第一歩が踏み出されました。同封のチラシが配布され、選者や投句募集の詳細が発表されました。

俳句表現の大切なところは、その一行の中にいかに豊かな詩を盛り込めるかを追求することだと思います。約束事や慣習に縛られ月並みに堕ちた俳句を正しい俳句へと導く先人たちの運動があり、さらには「私」の思いを素直に表白しようとした近現代の俳句があり、自由律俳句があります。

この「自由律俳句大賞」は世の多くの人に自由律俳句を知っていただく一助と位置づけています。皆様のご協力、ご参加をお願い申し上げます。(佐瀬風井梧)

◆ 投句募集のご案内 ◆

【応募方法】投句用紙(チラシ裏面/コピー可)、または原稿用紙、メールにて

2句1組(未発表句限定) ※違反があった場合には、表彰を取り消します。

氏名(フリガナ)、俳号(フリガナ、ある方のみ)、所属結社(ある方のみ)、

郵便番号、住所、電話番号、年齢を明記

【応募先】メール宛先: jiyuritsu.taisho@gmail.com

投句用紙郵送先: 〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野1-6-8-105 篠原紀子 宛

【投句料】2句1組 1,000円 (投句制限なし)

【振込先】・郵便振替口座 00180-9-417884 加入者名: 自由律俳句協会

・ゆうちょ銀行 記号 10050 番号 03963121 自由律俳句協会

他行より振込の場合

支店名: 〇〇八(ゼロゼロハチ) 普通 口座番号: 0396312 自由律俳句協会

振込が難しい場合は、郵便為替でも受付可能です(現金書留は不可)

【選者】石川聡、岡田幸生、黒瀬文子、富永鳩山、中村加津彦、堀田季何(五十音順、敬称略)

【応募締切】2024年5月31日(金)必着

【結果発表】2024年9月下旬頃、ホームページ、X(旧twitter)、ニューレターにて発表の予定

【表彰式】2024年11月下旬、自由律俳句協会総会にて ※会場未定(東京都内を予定)

【お問合せ】jiyuritsu.taisho@gmail.com

主催: 自由律俳句協会

自由律俳句関連のお知らせ

◆ 「木村緑平顕彰会」よりご報告

第55回木村緑平句碑祭、木村緑平顕彰会第26回総会が令和5年10月22日に行われました。それぞれ句碑際は柳城児童公園の句碑前、総会は柳川市婦人会館です。

会長の梶島徳博氏の挨拶、来賓挨拶(今回は「山頭火ふるさと館」館長中村浩典氏のご臨席)から始まり、緑平ジュニア賞(投句数3810句)の表彰、献酒・献花、「山頭火と緑平物語」の朗読後。写真撮影という70分ほどの句碑際に続き、総会が行われました。

機関誌新編集長よりのご挨拶と6号についてお知らせ

このたび、協会機関誌「自由律の風」編集長にご指名いただきました大川崇譜と申します。来年の通算6号に向けて、石川聡氏、おのぎのあ氏、白石ポピー氏、他にご協力の方々と企画・編集・校正・印刷をしております。限られた制作期間ではありますが、機関誌としての協会情報もお伝えしながら、充実した誌面づくりをしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

新編集部にとっては初めての号になり、試行錯誤中ではございますが、現在のところ6月初旬の発行をめざしています。句稿・原稿の募集、およびその記入方法について、「個人会員」「結社・グループ会員」それぞれのみなさまに同封の別紙にて詳細をお知らせしております。お読みいただき、ご協力をお願いします。締切は2024年2月10日になります。

今までの募集に対して既にお預かりしている句稿・原稿につきましては、そのまま掲載いたします。今回は新たな募集ということで、既に出された方も新しくお送りください。

機関誌はより多くの方にご覧いただくため、文学イベントなどでの頒布を引き続き予定しています。さらに昨今の、特に若年齢層の読書ツールの変化を考え、電子書籍での販売も検討、準備してまいります予定ですので、ご了承のほどお願いいたします。

(大川崇譜)

自由律俳句協会からのご報告・お知らせ

◆公式 X(旧ツイッター)担当より

フォロワー数 858となりました(12月11日現在)。

※協会ホームページにて、「第1回自由律俳句大賞」のお知らせページを作成予定です。ページが完成しましたらXでお知らせいたします。(さいとうこう)

◆会計より会費納入のお願い

会員の皆様には振込用紙を同封しております。今年度の会費納入をよろしくお願いいたします。

年会費：個人会員 4,000円(学生は1,000円) 結社・グループ会員 3,000円

＜会費納入先＞……振込用紙以外の振込み方法も可能です

郵便振替口座 口座記号番号 00180-9-417884 加入者名「自由律俳句協会」

ゆうちょ銀行 記号10050 番号03963121 自由律俳句協会

他行より振込の場合、支店名：〇〇八(ゼロゼロハチ) 種類：普通 口座番号：0396312

口座名義：自由律俳句協会

自由律俳句協会 事務局 <連絡先>〒125-0054 東京都葛飾区高砂 2-30-20 グリーンハイツ 202
西藤方 e-mail: jiyurituhaiku@gmail.com

ホームページ:<https://www.自由律.com/> X(旧ツイッター):自由律俳句協会@jihaikyo